

# 「男女共同参画の視点から防災を考える人材養成研修」アンケート(共通)

●実施時間 午前中 実施日 9月14日(日)

●年齢

|     |    |
|-----|----|
| 回収数 | 18 |
|-----|----|

| ～20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 | 未記入 |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| 0    | 3   | 7   | 4   | 3     | 1   |

●性別

| 女性 | 男性 | 未記入 |
|----|----|-----|
| 12 | 6  | 0   |

●満足度

| たいへん<br>よかった | よかった | 普通 | あまり<br>よくなかった | よくなかった | 未記入 |
|--------------|------|----|---------------|--------|-----|
| 12           | 4    | 1  | 0             | 0      | 1   |

●感想など

|   |  |
|---|--|
| 1 | 盛り沢山の内容すごかったです。若いときから、いろいろ経験されて今を作っていると思いました。  |
| 2 | 民間資格ですが、防災士として防災に関わる啓発活動をする上で、避難所運営で静岡県防災センターにて静岡大学牛山教授のHAG講座など受講していますが、あくまでもマニュアルであって、現実の問題にて於けるテーマは とても興味がありました。 |
| 3 | 話しが具体的でわかりやすかった。避難支援が必要な人ほど非難をしない現実を考えさせられた。京都の防災計画の話は観光客の多い京都ならではの取り組みが興味深かった。                                    |
| 4 | 男・女では要望がかなり異なることが具体的によくわかった。女性や子ども・高齢者・障害者など当事者の意見をきちんと聞くことが大切だ。国際基準を知ることが出来て、とても勉強になった。                           |
| 5 | スフィア基準がある事を知りました。日本が開催地なのに全く知らない。知らされてない事に驚きました。   |
| 6 | 盛りだくさんでしたが、何を弁口に来たのか、何が聞きたかったのかを気付くことができ、これからの為になりました。ありがとうございました。   |
| 7 | 色々な視点から災害について考える機会となりました。ありがとうございました。京都市の報告も、わかりやすかったです。   |
| 8 | 京都市の防災計画の詳細が知れて、今後の参加となった。また、男女参画の視点で、東日本大震災の振り返りができたことが、今後の京都市でおこった時の災害支援の参考にできて とてもよかった。                         |

# 「男女共同参画の視点から防災を考える人材養成研修」アンケート(共通)

●実施時間 午後 実施日 9月14日(日)

●年齢

|     |    |
|-----|----|
| 回収数 | 18 |
|-----|----|

| ～20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 未記入 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0    | 3   | 7   | 4   | 3   | 1   |

●性別

| 女性 | 男性 | 未記入 |
|----|----|-----|
| 12 | 6  | 0   |

●満足度

| たいへん<br>よかった | よかった | 普通 | あまり<br>よくなかった | よくなかった | 未記入 |
|--------------|------|----|---------------|--------|-----|
| 13           | 5    | 0  | 0             | 0      | 0   |

●本日の講座で、理解できなかった点や、もっと知りたいと思うテーマは？

|   |   |
|---|---|
| 1 | スフィアの画面もコピーほしいです。   |
| 2 | 地域の方以外の被災者が助けを求めたとき、どのように対応するのがいいのでしょうか？ワークで考える機会を下さったのがよかったです。見逃す点に気付いて理解も深まります。                   |
| 3 | スフィアプロジェクト 存在は知ってましたが、中身解説は不明でした。勉強になりました。大変よかったです。   |
| 4 | 自治会への防災を考える場で どのように男女共同参画をすすめることができるのか。あまり常に問題が起こらないと、防災もちゃんと考えないところに、男女共同参画の視点など考えないところへ どう啓発するのか？ |
| 5 | 責任を分かちあうべきとの話しがありました。理念は理解できますが、分かち合うことを積極的にしたい人は被災時であっても少ないのではないように思いました。                          |
| 6 | スフィア基準について、活用できそうなことから、導入ということでしたが、まずは平常時から理解を深めていきたいと思いました。  |
| 7 | 国際基準と現在の日本で行われている支援の矛盾を知れてよかった  |
| 8 | 自治会だけに頼らない方法  |

|    |  |
|----|--|
| 9  | 実際地域でどうすべきなのか？                         |
| 10 | 1日目は、考える事中心だったので、2日目は、感じることのできるものもいいな。 |

●感想など

|   |  |
|---|--|
| 1 | ありがとうございました。   |
| 2 | 防災に答えがありません。長期化対応はまだまだ手探りです(1ページ目)すべては被災しないと、語れない部分が多いですね。金銭あればプロですね。“泣き”は入れられなくなる。欲出だけ？清掃は？etc大変なことになりますね。  |
| 3 | 日本は防災においてもガラパゴス化していることを今日始めて知り驚いた。トイレの問題をどう解決するか実際の避難所では大きな課題になることがわかった。                                     |
| 4 | 実際町内で役をしていると市との方針との差にギャップがあり過ぎる。現会長も個人情報があり、各家庭の家族構成用紙を開封出来ないでいる。スフィア基準の実施は“はるか遠い”気がするが、実現しなければいけないことだと思います。 |
| 5 | 事例に基づいて説明をいただき、わかりやすかったです  |
| 6 | 本日 最後におっしゃった東京都の「母子救済所」についてもう少し詳細をお聞きできればありがたいです。  |
| 7 | 盛り沢山でしたが、大変勉強になりました。   |
| 8 | せっかくの質疑応答の機会なのに、解答が質問からそれて、質問する機会が失われてしまっていたので、なるべく簡潔にまとめて解答していただきたかったです。                                    |
| 9 | 防災の国際基準について知らなかったので大変勉強になりました。日本から発信しているにも関わらず、日本で取組が進んでいないというのが大変残念に思いました。                                  |

# 「男女共同参画の視点から防災を考える人材養成研修」アンケート(共通)

●実施時間 午前中 実施日 9月15日(月)

●年齢

|     |    |
|-----|----|
| 回収数 | 21 |
|-----|----|

| ～20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 | 未記入 |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| 0    | 3   | 9   | 5   | 3     | 1   |

●性別

| 女性 | 男性 | 未記入 |
|----|----|-----|
| 13 | 7  | 1   |

●満足度

| たいへん<br>よかった | よかった | 普通 | あまり<br>よくなかった | よくなかった | 未記入 |
|--------------|------|----|---------------|--------|-----|
| 15           | 6    | 0  | 0             | 0      | 0   |

●感想など

|   |  |
|---|--|
| 1 | ケーステーマについて 田中さんが男性とはビックリでした。平常時での活動範囲で推進員をされている感じが思います。あえて異常時について どの立場として行動取れば良いのか不思議である。事例に対応策を考え、気づきで適正を判断 難しいですね。 |
| 2 | 災害とジェンダー基礎編のテキストが具体的でわかり易い。家に帰っても、ゆっくり読み直したい。  |
| 3 | 1日のみの参加ですみません。まだまだ勉強足りなさ実感しました。  |
| 4 | 被災後の性暴力の話は、実際にそうなったときに男女共同参画センターとして どう対応するばいいか考えながら聞いていたが、すぐ手詰まりになってしまった。普段からの啓発をもっとやっていかなければならないと感じた。               |
| 5 | 目の行き届きにくい要配慮者について学べて良かった。ウェブサイトなど、深めるための情報を沢山頂けて良かった。  |
| 6 | 事例を使って考えると いろんなことが想像されて 前半の話をまとめて考えることができた。  |
| 7 | ワークショップがたくさんあり、事例検討できてよかった。  |
| 8 | 災害時の要援護者支援について、具体的に説明していただき、大変参考になりました。  |

|    |   |
|----|---|
| 9  | 地域で活用してみよう！避難所運営のワークショップも「ああそうか」と関心する事が多く、楽しく勉強できました。   |
| 10 | 全般的に、大変わかりやすくて勉強になりました。適度に自分たちで考えるワークショップもあり、身になる講座でした。   |
| 11 | ワークには答えがなくて、一番よくないのが、思考停止であることに同感でした。   |
| 12 | 講義の部分とグループで考える部分とが ほどのよい割合でした。  |
| 13 | 多くの方々が、研修でお話を聞かれたらいいですね、被災地の避難所での課題や対策を知ることができて役立てたいです。   |
| 14 | ワークショップで自分で考えると 今まで思ってもみなかった考えが出て楽しかったです。他の方のアイデアも とても参考になりました。考えのちがう大勢の人々が共同生活をすることは大変だけれど、アイデアと工夫で乗り切れるという希望が感じられました。前もってよく考える時間、多くの人の意見を聞いておく重要性もわかりました。 |
| 15 | 他者の意見をよ〜く聴くということが、大いに勉強になりました。  |
| 16 | 講師 参加者 全員の熱意に感心しました。  |
| 17 | (困難かと思いますが)地域で学習会を開催する際 利用したいデータが沢山ありました。   |

# 「男女共同参画の視点から防災を考える人材養成研修」アンケート(共通)

●実施時間 午後 実施日 9月15日(月)

●年齢

|     |    |
|-----|----|
| 回収数 | 21 |
|-----|----|

| ～20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代以上 | 未記入 |
|------|-----|-----|-----|-------|-----|
| 0    | 3   | 9   | 5   | 3     | 1   |

●性別

| 女性 | 男性 | 未記入 |
|----|----|-----|
| 13 | 7  | 1   |

●満足度

| たいへん<br>よかった | よかった | 普通 | あまり<br>よくなかった | よくなかった | 未記入 |
|--------------|------|----|---------------|--------|-----|
| 15           | 5    | 0  | 0             | 0      | 1   |

●感想など

|   |   |
|---|---|
| 1 | 避難所運営は、十人十色いやいや千人千色である。ただ100%は出来ない異常時と平常時の違いを理解、伝える必要がある。常に被災者から支援者へ変わる事。避難所は五ツ星ホテルではない。伝えつづけること。   |
| 2 | 一方的に聞くだけでなく、避難所運営に関するワークショップは、すぐにでも直面しそうな問題を、テーブルのメンバーで話せて楽しくなる討議できました。実際におこりうるテーマで話せて楽しく討議できました。実際におこりうるテーマが殆んどで、1人でなく話しているうちにもっといい意見が出てきた |
| 3 | 地域と共に本日気付いた事を伝えていきます。常にコミュニケーションが大切。一步一步前進しないとイケませんネ  |
| 4 | ワークは考えることが多くて、もう少し時間があったらいいなとも思ったか、実際の避難所では ひっきりなしにいろいろな問題が起こることを考えると難しいが迅速な決断も必要だと思った。   |
| 5 | グループワークを通して自分では思いつかなかったアイデア、考え方などを色々聞いて勉強になった。自分のこれからの活動について、ヒントになることがあり、大変役に立った。   |
| 6 | 長時間ありがとうございました。   |
| 7 | 今後の普及に向けて、いろんな自治体のケースがみれてよかった。  |
| 8 | ワークショップでは様々な意見が聞かれ、大変勉強になりました。  |

|    |   |
|----|---|
| 9  | 地域で活用してみよう！避難所運営のワークショップも「ああそうか」と関心する事が多く楽しく勉強できました   |
| 10 | 全般的に たいへんわかりやすく勉強になりました。適度に自分たちで考えるワークショップもあり、身になる講座でした。  |
| 11 | お客さんにさせない工夫に納得でした。  |
| 12 | ワークショップでは、実際にボランティアに行かれた方がいたので、その避難所で起こった事例から出た課題を教えていただけ考えが深まった。   |
| 13 | 女性センターが 相談の拠点となるべきか、避難所になるべきかは考えさせられました。ウイングス京都は京都市の施設なので、もうすでに避難所に指定されており、運営している財団から提言する機会がなかったのは残念です。これから この状況で出来ることを京都市の担当者と考えていきます。 |
| 14 | 他者の意見をよ〜く聴くということが大いに勉強になりました。   |

●今回の研修をきっかけに、これから始めたいことは？

|   |  |
|---|--|
| 1 | 今の活動を含め、別の分野に広がりを目指し、「男」「女」と使い分けしない事が出来れば理想です  |
| 2 | まずは自分の学区の防災体制を他団体と連携して活発化させたい  |
| 3 | 学校 自主防災会 自治会 PTA 巻き込んでの防災訓練実現  |
| 4 | 震災から4年たち、市民の興味・感心が防災から薄れているが工夫をこらして大切さを伝えていく努力が一層必要  |
| 5 | 自分にできるところから 繋がりを広げていきたいと思います。学んだ内容も伝えられるように頂いた資料をしっかりと復習して自分の中で深めていきたいと思います。   |
| 6 | 今日得たことを機会ある時に活用します。  |
| 7 | 防災について、大変勉強になりました。今後も、色々 勉強が必要だと実感しました。  |
| 8 | 私は今年 順番制の町内役員をしていて、まさにお年寄りが多く、防災意識も低いです。防災委員も事務的に会長がなるという状態です。色んな人が防災委員をするのが良いのか、決まった人がするのが良いのか？考えるところであります。この講座を受けて地域での防災を意識するようになりました。どう 防災の男女共同参画をするか私にとって課題です。 |

|    |   |
|----|---|
| 9  | 大学の職員なので、学生や地域の方々と一緒に災害時のマニュアル作りをしようと思います。  |
| 10 | 農村活性化に防災の視点を入れて考えてみたいです。  |
| 11 | 避難所運営マニュアルの見直し。赤ちゃん情報便で乳幼児親子をサポート中、住民1人ひとりに関わり防災を切り口にもしたい。支援できる役割(立場)を利用する？地域のおばちゃんを使ってくれるとうれしいと伝える。  |
| 12 | 防災をきっかけに、自治に関する見え方は まだまだだと思います。自分のおかれる立場を変化させていく事も大切な事だと思います。   |
| 13 | 子どもに、避難所で自分の出来る役割を考えさせたい。   |
| 14 | 仕事としての防災は考えていましたが、自分の過程の防災については考えがたりなかったと気付きました。夫や子どもたちと どうするか話し合い、自治会の方にも居住地域がどのような体制なのか、詳しくきいておきます。ありがとうございました。   |
| 15 | 新しい人材を発掘します。旧習の悪いところを少しずつ破ります。  |
| 16 | 自主防災会 防災部長に就任したが、私の町は1年期限の回り持ちで残念です。違う形で関われる切り口を捜しながら、継続して役をもっておられる町もあり、その方々に、短期決戦でアピールしてみようと思います。他の切り口は、地域包括支援センターと協働作業を初めています。介護保険の利用を自己作成という利用者本位のケアプランを勧めており、その中で、ワークショップ「おとなりさんなしで大丈夫？」というテーマで4年間(年1回)公開講座をしてきました。又、同じ考えを住んでいる町で展開するためにコミュニティカフェを月1回開いている。きっかけは3.11です。避難所で1人ボラをして、コーヒーをふるまって、寄り添う方と知り合い、中味も趣旨も違うが、エールを送るつもりで始めました。折りにふれて、被災地のことを伝えています。そして、地域での顔見知り仲間づくりを大切にと訴えています。タイミングよく、受講できてよかったです！ |
| 17 | 今行っている傾聴ボランティア・パッククッキングを続ける   |



「男女共同参画の視点から防災を考える人材養成研修」アンケート(共通)

お住まい

|     |    |
|-----|----|
| 回収数 | 20 |
|-----|----|

|    |    |     |
|----|----|-----|
| 市内 | 府下 | 他府県 |
| 18 | 1  | 1   |

|     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 北区  | 中京区 | 左京区 | 西京区 | 山科区 | 上京区 | 下京区 |
|     | 7   | 2   |     | 1   | 1   | 1   |
| 右京区 | 南区  | 伏見区 | 東山区 |     |     |     |
|     | 1   | 5   |     |     |     |     |

年齢

|     |     |     |     |     |       |    |
|-----|-----|-----|-----|-----|-------|----|
| 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代以上 | 不明 |
| 1   | 3   | 8   | 5   | 2   |       | 1  |

何で知ったか

|        |      |     |          |      |    |     |
|--------|------|-----|----------|------|----|-----|
| 市民しんぶん | 講座案内 | チラシ | ウイングス京都H | メルマガ | 紹介 | その他 |
| 2      | 1    | 5   | 2        | 3    | 9  | 0   |

(内訳)

きっかけ→記述欄へ

今までに防災に関する研修に参加したことはありますか

|    |    |     |   |    |      |      |
|----|----|-----|---|----|------|------|
| ない | ある | 未記入 | ⇒ | 1回 | 2~4回 | 5回以上 |
| 7  | 13 | 0   |   | 3  | 6    | 3    |

どこで? =ウイングス 5

その他 8 (勤務先)

ウイングス京都の利用

|      |     |        |     |
|------|-----|--------|-----|
| はじめて | たまに | よく利用する | 未記入 |
| 4    | 11  | 4      | 1   |

(利用場所)

|       |     |      |     |
|-------|-----|------|-----|
| 図書情報室 | 貸会場 | 主催講座 | その他 |
| 8     | 3   | 8    | 4   |

男女共同参画センターであることを

|       |        |     |
|-------|--------|-----|
| 知っていた | 知らなかった | 未記入 |
| 19    | 1      | 0   |

男女共同参画ということばを

|         |       |      |      |     |
|---------|-------|------|------|-----|
| よく知っている | なんとなく | 言葉だけ | 知らない | 未記入 |
| 12      | 7     | 1    | 0    | 0   |